

# 報 伊 方 町

発行所 町方伊報  
 愛媛県西予郡伊方町南浦  
 〒796-03 伊方局38-0211  
 編集 務課  
 印刷 豊社  
 八幡浜市松栢 ☎22-0144

## みんなの願い「火の用心」

保育所の年長児が、防火ポスターを製作。町内の各分団消防詰所に掲示して、火災予防に役かっています。



あったー。ボクのポスターあったよ！(第5分団消防詰所前)

十一月九日から十五日までの一週間は、秋の全国火災予防運動が行われました。伊方町消防団(三好章一団長)では、予防思想の普及をはかるため、保育園児による防火ポスターを募集、各分団

消防詰所などに掲示して、町民のみならず、火災予防を呼びかけました。防火ポスターは、保育園児のなかでも年長組さん八十二名に書いていただいたもので、思い思いに、消防自動車や火

災現場の状況が、すなおに描かれていきます。火災が発生すると、尊い人命や貴重な財産が失なわれま

す。これから、寒くなり暖房器具や火を使う機会が増えてきますが、火の取り扱いや後始末はきちんととして、恐しい火災を起こさないようにしたいものです。

### 緑の下の力持ち 消防団

町では、消防積載車の老朽化が激しいため、更新を計画しています。これにともない、町民のかたの中で古くなった積載車の購入を希望されま

す。この消防積載車は、昭和五十年十一月に購入、排気量千五百ccで積載能力は一トンで

町火消から二百六十年あま

りたった現代では、消防団がその役割を果たしています。消防団は、町民の生命、身体や財産を守り、各種災害活動のすべてを引き受けるなど、地域における重要な役割を担っています。また、それを支えているのが消防団員です。

消防団員は、二つの船を持っています。ふだんは魚屋さんや大工さんが、非常の場合は消防団員として活躍するので

です。演習地付近の皆さんには、早朝から大変ご迷惑をおかけします。ご協力をお願いします。

### 今月の紙面

- 二面……伊方町家族会結成大会  
CATV加入のチャンス  
3万円の町補助金制度
- 三面……民話と伝説  
「須佐之男神は農耕神」
- 四面……歳時記「鍋もの」

## 消防積載車を競売

購入してから十五年を経過しているものの、車の走行距離は四千キロあまりと、町内に火災が少ないため、あまり走行しておりません。台数は三台で、競売は次の条件で行います。購入を希望されま

す。この消防積載車は、昭和五十年十一月に購入、排気量千五百ccで積載能力は一トンで

入ります。購入を希望されま

す。この消防積載車は、昭和五十年十一月に購入、排気量千五百ccで積載能力は一トンで

入ります。購入を希望されま

す。この消防積載車は、昭和五十年十一月に購入、排気量千五百ccで積載能力は一トンで



## 山口氏に勲五等瑞宝章

(郵政事業功勞)

文化の日(十一月三日)に恒例の平成二年秋の叙勲受章者が発表され、本町では九町の山口軍兵衛氏(元町見郵便局長)七十歳が郵政事業功勞で勲五等瑞宝章に輝きました。山口氏は、昭和十年十二月に町見郵便局に入局。以来、四十五年間の長きにわたり業務に精励。その間、昭和二十年九月から三十五年間町見郵便局長を務め、住民とのふれあいを大切に、地域に密着した郵政事業の発展に尽くされました。また、町教育委員会委員として四期十四年間、学校教育や社会教育の発展に貢献。さらに、町文化財保護審議会委員、町見体育振興協会会長、伊方ライオンズクラブ会員などを歴任され、地域におけるボランティア活動の普及、文化・体育の振興に努め、町の発展のために尽くされました。



## 改定版伊方町誌

(申込受付中)

町制施行三十周年記念事業として、昭和六十二年九月に発刊しました「改訂版伊方町誌」皆さまのご家庭では購入されませんでした。伊方町誌は、私達の祖先の残した歴史、文化、町の歩みや移り変わりが満載されています。将来の新しい時代を考えると、古き良きものを大切にしたいという気持ちから、ご家族で活用いただければ幸いです。購入を希望されます方は、役場総務課までお問い合わせください。

【販売価格(消費税込)】  
 ○町内者 千五百四十五円  
 ○町外者 三千九十四円(送料町負担)



## 広報の縮刷版も

伊方町が誕生した直後の昭和三十年七月の第一号から昭和六十年四月発行の第二百七十二号までの広報紙を一冊の本にまとめたものです。価格は、二千五百七十五円(消費税込)。懐かしい写真や記事が満載。家族で楽しめる一冊です。

町民会館で開かれた伊方町家族会結成大会



### 障害者に明るさを 伊方町家族会結成

町内の精神障害者を持つ家族のかたがたが集まり「障害者が地域で気持よく生活でき、社会参加できる」と、「伊方町家族会」を結成。10月24日、町民会館で結成大会を開きました。

家族会(会長 浜田孝三)は、昭和61年9月から町保健センター、八幡浜中央保健所か中心となって行われた家族教室に参加。精神障害者を正しく理解し、お互いの悩みを語り、励ましあうなかで、家族の役割を真剣に考えるようになった。そこで、障害者に明るさと生活の意欲を持たせ、社会参加を支えていこうと結成されたものです。

当日は、会員や関係者、約70名が参加。結成までの経過報告のあと、来賓祝辞に続いて県精神保健センター所長の青木真策先生が「家族会に期待すること」と題して記念講演がありました。

家族会では、これからも家族教室に参加し、障害者の幸せのため、郡内の家族会とネットワーク作りに努めながら、障害者の社会参加を支える活動を行っていきます。

# CATV加入のチャンス

## 3万円の町補助金制度

現在、八西地域で進められている有線テレビ放送(CATV)の加入促進をはかるため、町から加入促進補助金(三万円)が交付されることになりました。

CATV事業は、備八西地域総合情報センターで、平成三年四月開局を目指して工事が進められております。情報センターでは、十月からCATV加入の予約申込を受付しておりますが、みなさんは加入申し込みされましたでしょうか。

このたび町では、このCATV事業の加入促進をはかるために、補助金を交付することです。町の経済的負担を軽減し、町における情報基盤づくりの推進をはかろうと、「伊方町CATV加入促進補助金」の制度を制定することになりました。

この補助金は、平成三年三月三十一日までに町内に居住する町民のかたが、CATVに加入申込を行うとき、町から三万円消費税を含めると三

## CATVに加入すると

**アンテナが**きれいな画面でいらなくなります。テレビを楽しむことができます。

**チャンネルが多く**見たい番組を選択することができます。

**自主放送で**身近な話題を知ることができます。

申し込みは、**ハガキ又は電話で!**  
(財)八西地域総合情報センター  
☎(0894)22-3111

## こんなかたが 補助対象

CATV事業に加入申し込みをされるかたで、補助金の交付を受けられるかたは、次の要件を満たしているかたです。

- 【資格】
- 一、平成三年三月三十一日までに申し込みをされた人
  - 二、平成二年十月一日以降、引続き加入契約時まで伊方町に居住し、かつ町の住民基本台帳に登録されている人
  - 三、町内で受信される人
- 対象は、前記の三要件をすべて満たしている個人のみとし、法人は対象外となります。
- 【補助金の額】
- 一世帯に対して三万円消費税を含めると三万円九百円
- ただし、世帯とは住民基本台帳上の世帯を基準として



三崎町と合同のミニ運動会では、家族と一しょにハツラツプレー

家族会では、賛助会員を募集しております。本会の趣旨にご賛同いただけるかたは、家族会事務局までご連絡ください。

TEL三三八一〇八七八

▽賛助会員会費  
年額 一口 五百円  
▽事務局  
亀浦 清家一俊

料 金 (消費税は別途必要)	料 金	
	基本料	加入金
加入金	20,000円	加入金10%引き 町補助金30,000円で 個人負担 3,000円
引工事料	15,000円	町補助金30,000円で 個人負担 5,000円
宅工事料	実 費	実 費

【補助金の交付】

補助金については、情報センターに町が直接交付しますので、加入者のかたは、料金を納める時に補助金を差し引いた金額を納めていただくこととなります。



⑤

**AQ** 固定資産税は、土地・家屋・償却資産にかかる税金のことで、町民とともに各市町村の基幹的な税であり、町税総額の七〇パーセントにあたります。(下記円グラフを参照)

平成元年度町税額と税目別割合



【免状点】

同一人が町内に所有している固定資産の課税標準額の合計額が、次の金額に満たない場合は課税されません。

土地 十五万円  
家屋 八万円  
償却資産 百万円

【参考】

税金を納める納税義務者は、毎年一月一日現在の固定資産の所有者(名義人)となります。

## AQ

土地の評価と課税のしくみについて教えてください。

固定資産税の算定の基準となる土地の評価は、法で定める固定資産評価基準に基づき、地目ごとに評価をして課税標準額を定めます。

評価の方法は、宅地、農地、山林等それぞれの地目ごとに標準地を選定し、この標準地の価格を売買実例価格や国が毎年公示する標準地価格等を参考に、課税標準額を定めます。

【評価替え】

土地の値うちは、経済の動向や需要と供給のバランスで変動します。そこで、三年に一度「評価替え」として見直しする制度がとられております。

大回りは、平成三年に実施されますが、評価替えが行われても、その年に一度に替えるのではなく、三年間で段階的に新評価額に移行することになります。

【税率】

税率は、百分の「四・四一」(二・二)の範囲で各市町村の条例で定められています。本町では、標準税率の「四・四」で課税を行っております。

【税額】

固定資産税の税額は、次の算式で課税されます。

税額 = 課税標準額 × 1.4 / 100

ただし、特例が設けられており、住宅用地については、その価格の半分の額を課税標準とする。また、住居一戸につき二百平方メートル以下の小規模住宅用地については、その価格の半分の額を課税標準とするなど、大巾な税金の軽減措置がはかられております。

# 民話と伝説

補作/豊村 豊 挿絵/山本一路(湊浦)

(74)

## 須佐之男命は農耕神

日参したのせ  
必勝祈願の日参にちがいないが、自分の夫や息子が無事に帰ってきますように祈ったものですらい。  
小高い森にある村の鎮守の神様は、そんないろいろな願ひ事をききながら、村の人たちを見守っておられたのであろう。八岐大蛇を退治し、出雲を治めた神話のヒーロー、スサノオはそもそもどんな神

る。  
同町では、スサノオをシンボルに町おこしを進めており、「スサノオの原像とは何か」古事記や日本書紀、出雲風土記などの文献や、荒神谷遺跡などの、出雲の古代道跡から同地方の歴史をたどり、スサノオのモデルやその神話の意味するものは何か。まず、スサノオのルーツについては①風の神②海の彼方から来る



神③和歌山県の熊野地方の神などの説がある。「スサノオは須佐の男(お)」でも、もとは出雲西部の須佐地方(現・佐田町)の農耕の神をいう。「古代の須佐には、スサノオが祖先神と仰ぐ集団のスサ族がいたと思われ、彼らは六世紀後半、中国地方を征服しようとして広島側から来た大和朝廷軍に味方し、先導して共に戦ったのであろう」。

スサノオの話は出雲一帯へ広まり、勇敢な神のイメージとなつて大和地方へも伝わり、出雲を代表する神の一人として描かれたと思う。同町では、二全国のスサノオゆかりの神社の代表を集めた「スサノオサミット」を開くことを検討中。ところで、この須佐之男命は、伊弉諾命・伊弉冉命の二神の間に生まれた子天照大神の弟。天照大神が須佐之男命の暴状を怒り天の岩屋に籠ったため、天地が常闇となり万々が生じた。八百万の神々が相談して種

々の物を飾り、天児屋根命が祝詞を奏し、天御女神が舞ったところ、大神が出てきて、世が再び明るくなったという神話。  
出雲国飯沼の上流にいたという伝説上の大蛇、頭も尾も各、八つにおかれた。八岐大蛇を、須佐之男命が退治して奇稲田姫を救い、その尾を割って天叢雲剣を得て、天照大神に献じたという神話は有名である。  
また、ある日新羅(朝鮮半島)に渡って、船材の樹木を持ち帰り、植木の道を教えたという話もある。  
河内の八坂神社、中浦の金島神社、川永田の八尺神社の祭神は須佐之男命を祀っております。  
また、日照りが続けば雨乞いをするのも氏神様。どんな身勝手な願ひ事も断られることなく聞いて下さった。昔から村人が崇めてきた氏神様へ、これからは度々参ってみたいと思えます。



今回の「青春ネットワーク」は、辻晴恵さん(21歳)を紹介し、県内外から年間十万人が訪れる四国電力伊方ビクターズハウスに勤務受付や館内の案内など来館者の応対にさわやかな笑顔で力と頑張っている。同僚からは、とてもしっかりとした女性と評判の彼女。自分の性格について「頑固で短気なところがあります。でも二十二年間の性格だから、もう変わらなかな」と笑顔で話す。趣味はお菓子作りと音楽鑑賞。好きな男性のタイプは、俳優の上させて行くような男で下さい。

さわやかな笑顔で!! 応対を

これからも多くの人のふれあいを通して、自分自身を向上させて行くよう頑張ってください。



十一月一日から七日までは教育・文化週間です。町内でも文化祭が開催され、文化の

## スポットライト

### 町出身の銅版画家 萱 憲子さん

— 夏 草 —  
春陽会会員・日本書道作家クラブ会員  
大日本現代美術家連盟会員  
住所 東京都小金井市前原町3-40-20-801

家がおられます。銅版画家の萱憲子さん(本名 山口憲子)もそのお一人です。  
萱さんは、大浜の出身で八幡浜高校を卒業、十八歳のときに上京され、桑沢デザイン研究所で美学を学び、築間書房に勤務。三十歳のときから銅版画を始められました。始められて三年目の昭和五十二年に春陽展に入選、昭和五十二年には、春陽展新人賞を受賞され全国的に技術が認められていきます。  
このたび町に「夏草」と題

して描かれた銅版画を寄贈していただきました。  
萱さんの作品は、おもに心象画。この夏草は、昭和五十六年マイアミ・インターナショナルプリントアート展に入選したもので、版画とは思えない繊細な線と、スミの濃淡がみごとに描かれています。  
萱さんに銅版画の魅力についてうかがうと、「銅板のあかね色の輝きに魔力を感じ、時間をかけ計算しながらクルクルに製作できる」と話される。  
今後とも、益々芸術家として活躍されることを期待いたしております。

## 遊ぶ!ふれあい広場(畑地区)



老人と子供達がスポーツを通して親睦を深めようと、畑地区では老人クラブが中心となり、十一月十一日、小中学生と老人クラブのふれあい広場を開催しました。  
当日は、子供クラブ員六十名が参加。ケートボールやバレー、ボリン、ボウリングなどを楽しみ、さわやかな汗を流しました。  
ふれあい広場は、畑地区の町づくりの一環として、地区自治制度を活用して行われたもので、日頃、スポーツをする機会が少ないお年寄りにたいへん喜ばれています。

## 青春

### NETWORK

① 辻 晴恵さん (伊方越=22歳)



よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

—ふれあい—

いかた

教育だより

(発行) 伊方町教育委員会  
 (編集) 社会教育課  
 (印刷) 豊豫社

差別を見抜き

差別を許さない地域社会を

第五回伊方町同和教育研究大会

「差別を見抜き、差別を許さない地域社会をつくらう」をテーマに、十月二十七日、中央公民館で第五回伊方町同和教育研究大会が開催されました。午前中は三分科会で、それぞれのテーマにより、これからの方策などが話し合われました。

午後からは中学生による人権作文の発表や、全国同和教育研究協議会常任委員の中山英一先生を講師に迎えて講演会が行われました。



中山先生の話しは、聴く者に深い感銘を与えられた

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

中山先生の話しは、聴く者に深い感銘を与えられた。中山先生は、「同和教育とは、命と人権を守り、真の民主化を達成する教育である」との理念に立って、自ら厳しい被差別体験に基づき、差別は許されるものではないことを強く訴え、参加者に深い感銘を与えられ研究大会を閉じました。

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

【地区懇談会について】  
 ○各地区で何故、人が集まらないか実態調査をし、参加しない家庭を把握、訪問して呼び掛ける必要がある。  
 ○「近くに対象地区がないか」

差別をなくする強調月間

11月11日から12月10日まで

県民一人ひとりが人権意識の高揚を図り  
 差別のない社会をつくりましょう

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

12月のテーマ “年越しを感謝しよう”

- 【実践方法】
- 1年間をふり返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう
  - 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう

# 文化の秋を満喫

## 第15回 伊方町文化祭



文化講演会の前に行われた式典では、永年にわたり文化活動を推進して来た、きそん踊り保存会【写真下】・伊方吟詠会・伊方民謡愛好会に町文化協会会長表彰、また人権カレンダーの絵を提供された浅野美杉校長(水小)【写真上】・書を提供された米澤利光校長(伊小)に町長から感謝状が贈られた。

「地域からつくりあげようふれあいの輪」をテーマに、十一月三日・四日の両日、中央公民館・町見体育館を主会場に、第十五回伊方町文化祭が盛大に行われました。

中央公民館・町見体育館では、盆栽、短歌、俳句、華道、写真のほか、ひょうたん、公民館の学級・講座生の手芸など盛りだくさんの作品が展示され、会場を訪れた人は作品の出来映に関心していました。

また、四日には、中央公民館で子供映画会、タレントの海原小原さんを迎えての文化講演会も行われ、一日間で約三千人の人が両会場を訪れ、文化の秋を満喫していました。



ひょうたんの容量当てクイズには約四百の投票があり、正解は10と(五升八合)で、十三人の正解者には愛ひょう会からひょうたんが贈られました。



文化祭にはつきものの菊花展



タレントの海原小原さんを講師に迎え、中央公民館で文化講演会が行われた。詰め掛けた四百人の聴衆を前に、ご自身の波瀾にみちた人生体験を語り、笑いの中にも切々と訴えるものがありました。



展示してあったいすに腰をかけ、一休みするおばあちゃんたち



てんぷらの実演には黒山の人だかり (伊方郵便局にて)

### ひとあひ早く文化祭

#### 第二回 向ふれあいまつり

十月二十八日、向公民館で第二回向ふれあいまつりが開催され、大勢の人出でにぎわいました。

会場となった公民館前広場にはデントが張られ、児童、生徒の作品展、華道展、雑貨ノミの市、ふれあいバザーなどのほか、今年度は



デントの中は作品で一杯

ふれあい談話室を設けたり、紅白幕を張つてのカラオケ大会、小学生のトランペット隊も繰り出すなど、趣向を凝らした催しが目につきました。

また、防火PRを兼ねての消防団詰所の見学や、お年寄りが作った竹馬や水鉄砲を使つての遊びコーナーなど、住民総出で楽しんだふれあいまつりでした。



### 起源のなぞ

#### 針供養の起り

江戸時代の婦人の年中行事の一つで、二月八日また



江戸時代の針供養(風俗画報より)

は十二月八日に行われる。明治のころまで裁縫師の家では、お針子たちがこの日に晴れ着を着て集まり材料を持ち寄つて五目飯など針を集めておいて、五目飯と共に淡島神社に供え、裁縫の上達と怪我のないことを祈願し、一日仕事を休んで楽しむこととした。一般の家でも針休みの習慣があり、折れた針を豆腐やコンニャクにさして川に流すこともあった。

光文書院  
「起源のなぞ」より



同和教育シリーズ (その五十六)

同和教育問題のQ&A

町民には、地区別同和教育懇談会のほかに、学習の機会はないのでしょうか。

今年度も、差別をなくする強調月間(十一月十一日〜十一月十日)が始まりました。

この地方では、十一月三十日(金)、八幡浜市民会館で三三〇から、啓発映画と講演会が開催されることになって

先日の十一月十三日〜十四日には、同和教育推進のために、平成二年度の県同和教育研究大会も開催されました。

十二月には、第四十二回全国同和教育研究大会が開催されることになっています。

今年度のテーマは、差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう。そして、人間は

差別の現実から深く学んでこそ、差別というものが身近になるのではないのでしょうか。

第3回 移動美術展



とき/平成2年11月17日(土)〜12月2日(日) 開館時間 9時〜17時 月曜日休館

ところ/旧宇和町小学校保存校舎

とき/平成2年12月6日(木)〜12月21日(金) 開館時間 9時〜17時 月曜日休館

ところ/広見町立近永公民館 入場料●大人:100円、大学・高校:50円、中・小学生:30円、高齢者・身障者は無料(手帳持参のこと)



松田くん 三段跳びで五位入賞

これからも、お互いに研修を深め、差別のない明るい社会づくりに努力しましょう。

第39回 全国青年大会

第三十八回全国青年大会が十一月九日から十二日まで東京都内で行われ、松田誠くん(淡浦)は十一日、胸

編集後記

本年度の県公民館報コンクールで「ふれあいいかた」が佳作に入り、十月三十一日に行われた県公民館大会で受賞しました。

スポレク 愛媛'90

伊方総合スポーツ 少年団 準優勝

「スポレク」で結ばう愛媛の三世代。スロウガンに「愛媛スポーツ・レクリエーション祭90」が十一月四日、松山市

図書室 だより

清水信英さん(淡浦)より公民館図書室に、推理小説など一四四冊の図書を寄贈していただきました。

短歌くらぶ

- 父母在れば嘆きますら石身に替へて作りし畑は荒山となりて 上野 嘉子
○雪の野に深く沈みて見る月のしらしらしらとして片方欠くる 宇都宮 すみ
○十五年ぶり初孫生れし反思ふ身感辺に輝く明星 松岡 昭子
○曇早き空にまどかなる日出でて露相収権の一日終はれり 梶田 ミヨコ
○カガリたる空気に覆はるる日暮れ耐えて静かに茶碗を洗ひ 菊池 朱見子
○見合ひせし孫よりのわれのたかぶりて思ひぬくらし一夜眠れず 川上 統子
○天高く銀に輝くヘリコプター音のみ残し空にまざる 是沢美那恵
○動悸して真夜の間に葉のお鳴く虫二つ声のかけし 田中 朝子
○台風の予報に重き盆籠納屋に運ぶも此の年四度目 梶谷 千代子
○沿の上渡る朝風心地良し三層灯台秋陽に白し 岡山 綱子

第5回国民文化祭 俳句入選作品の紹介

- 初蝶や原子がまではほど遠き 小川文一郎
○うららかや嫁が呼んでる 一番風呂 梶谷 芳久
○風絶えて網戸の網目まで替し 菊池 あつ子
○炎天に楳音響き棟上る 藤川 勝子

12月の行事

- 12月14日 青少年補導会連絡協議会(中公)
12月上旬 体育指導委員協議会(中公)
教育懇談会(中公)
12月中旬 がいな塾(中公)
社教委員会議(中公)
公民館運営協議会(中公)



